みずほCustomer Desk Report 2022/10/28 号 (As of 2022/10/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	146.15
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.08	1.0093	147.38	1.1638	0.6491
SYD-NY High	146.93	1.0093	147.69	1.1645	0.6522
SYD-NY Low	145.11	0.9958	145.60	1.1550	0.6428
NY 5:00 PM	146.29	0.9965	145.60	1.1564	0.6454

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,033.28	194.17	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0200%
NASDAQ	10,792.68	▲ 178.32	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,807.30	▲ 23.30	米国2年債	4.2813%	▲0.1360%
日経平均	27,345.24	▲ 86.60	米国5年債	4.0641%	▲0.1233%
TOPIX	1,905.56	▲ 12.65	米国10年債	3.9259%	▲0.0799%
ｼｶｺﾞ日経先物	27,085.00	▲ 305.00	独10年債	1.9765%	▲0.1350%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,073.69	17.62	英10年債	3.4005%	▲0.1755%
DAX	13,211.23	15.42	豪10年債	3.8770%	▲0.0900%
ﾊﾝｾﾝ指数	15,427.94	110.27	USDJPY 1M Vol	13.43%	▲0.02%
上海総合	2,982.90	▲ 16.60	USDJPY 3M Vol	12.83%	0.17%
NY金	1,665.60	▲ 3.60	USDJPY 6M Vol	12.09%	0.03%
WTI	89.08	1.17	USDJPY 1M 25RR	▲1.46%	Yen Call Over
CRB指数	276.81	▲ 0.54	EURJPY 3M Vol	12.78%	0.19%
ドルインデックス	110.59	0.89	EURJPY 6M Vol	12.59%	0.10%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は、146.08ﾚﾍﾞﾙでｽﾀｰﾄ。午前は146円前半で推移し、146円ちょうどの買いに押し戻され146.37まで上昇する動きもあるも、午後には再度下値を試す値動きとなり、146円を割ってから下げ幅を拡大し145.11をつける。その後ECB理事会を目前にしたﾕｰﾛﾄﾞﾙの下落もあって値を戻し、145.54ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、145.54ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。東京時間終盤でﾄﾞﾙが買い戻された流れを引き継ぎ、一本調子で上昇した。146円手前付近まで戻すとﾄﾞﾙ売り圧力も見られしばらくこう着状態となったが、146円を上抜けすると146.71まで急昇。146.67ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

ﾄﾞﾙ円は146.67ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方はｵｰﾌﾟﾝ前の買い優勢の流れを引き継ぎ、高値146.93をﾀｯﾁ。その後、米第3四半期GDPが発表され、3期ぶりのﾌﾟﾗｽとなり予想値を上振れるも、米金利低下が重しとなり、ﾄﾞﾙ円は145.68まで反落。売り一巡後、146円台前半まで持ち直すも、午後は膠着し、結局146.29ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.00ﾚﾍﾞﾙ後半でｽﾀｰﾄ。ECB理事会前のﾎﾟｼﾞｼｮﾝ調整が進んだためか、ﾄﾞﾙ買いが進行し、一時1.0029まで下落。小幅反発後、1.0050ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方発表されたECB理事会では予想通り75bpの利上げが伝わるも、その後行われたﾗｶﾞﾙﾄﾞECB総裁の記者会見を経て、ﾕｰﾛ圏でのﾘｾｯｼｮﾝ懸念が強まる中、ﾕｰﾛは売りが強まり、再びﾊﾟﾘﾃｨ割れとなり、0.9960近辺まで下落。午後は小動きとなり、結局、0.9965ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・松木

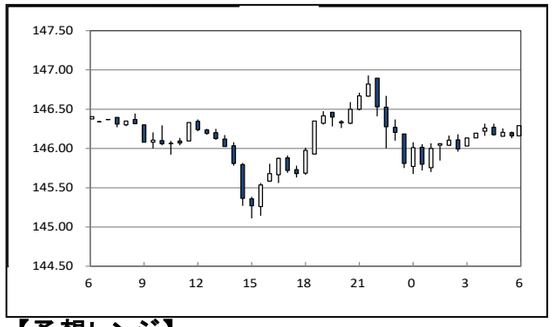
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
10月27日	21:15	欧	ECB主要政策金利	27-Oct	2.0%	2.0%
	21:15	欧	ECB預金ﾌｧｼﾘﾃｨ･ﾚｰﾄ	27-Oct	1.5%	1.5%
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	3Q A	2.6%	2.4%
	21:30	米	個人消費	3Q A	1.4%	1.0%
	21:30	米	ｺｱPCE(前期比)	3Q A	4.5%	4.5%
	21:30	米	耐久財受注(前月比/除輸送用機器)・速報	9月	0.4%/-0.5%	0.6%/0.2%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	22-Oct	217k	220k
	21:45	欧	ECBﾗｶﾞﾙﾄﾞ総裁 会見	「ユーロ圏の景気下振れリスクあるも、今後数会合で利上げを続けていく。		

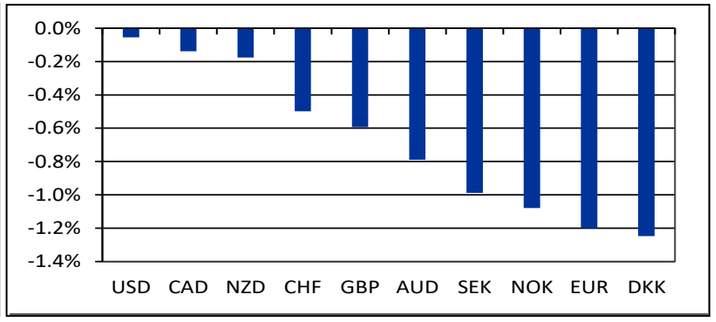
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月28日	08:30	日	東京/東京コア/東京コアコアCPI	10月	3.3%/3.2%/2%	2.8%/2.8%/1.7%
	08:30	日	失業率	9月	2.5%	2.5%
		日	日銀 金融政策決定会合	28-Oct	-0.10%	-0.10%
	15:30	日	黒田日銀総裁 会見	-	-	-
	17:00	独	GDP(前期比/前月比/前年比)・速報	3Q P	-0.2%/0.6%/10.1%	0.1%/1.9%/10.0%
	21:30	米	PCEﾃﾞﾌﾚｰﾀ(前月比/前年比)	9月	0.3%/6.3%	0.3%/6.2%
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	9月	-4.0%	-2.0%
	23:00	米	ミシガン大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞ・確報	10月	59.6	59.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.00-149.00	0.9850-1.0100	144.50-148.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は値動きの荒い展開。米金融引き締めペースの減速織り込みに米金利の上値は重く、日銀金融政策決定会合への思惑もあるのか、午後には145.11まで下落。ただ、下値では買い意欲旺盛でその後ドル円は146.93まで急上昇。
ECB理事会では予想通り連続75BP利上げを実施するも、ラガルド総裁は正常化へ向け従来の姿勢を崩さず。これを受けて景気減速懸念の高まりから米金利も大きく下落し、ドル円は上値重く再度145円台へ下落するなど荒い値動きとなった。
本日のドル円は底堅い展開を予想する。注目材料は日銀金融政策決定会合を受けた黒田日銀総裁発言。一部では政策変更観測も燻るが、従来のハトスタンスを崩すことはないと思われ会見後円安方向に振れやすいか。また、米引き締めペース鈍化観測に米金利は下落しているが、それを裏付けるインフレデータ発表前に期待先行感あり。そのため、ドル円は実需フローも勘案、下がったら買いスタンス継続か。当局が150円をレッドラインに設定しているか見極めたい。